

第5回奈良県地域交通改善協議会

～ 路線別検討会議 概要 ～

平成26年6月9日
奈良県地域交通改善協議会

協議対象25路線 路線別協議状況

※ 5月30日現在

協議対象25路線			合意形成の状況					ポイント	関係市町村(東部、中部、南部) (○=通過(停車停留所あり)) (△=コミュニティバス等が接続)																											
グループ	路線名	運行系統	現状把握	課題認識	改善策	方針 (維持・廃止・代替)	費用分担		奈良市	大和高田市	天理市	橿原市	桜井市	五條市	御所市	葛城市	宇陀市	山添村	官爾村	高取町	明日香村	広陵町	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村	御杖村	野添川村		
東部-A	天理都祁	天理駅～針インター～国道山添						奈良市→針インター以东「廃止」やむなし その他→「維持」	○	○							○																			
東部-B	天理桜井	天理駅～桜井駅北口(川合東口)						費用分担の合意		○	○																									
東部-C	奥宇陀	榛原駅～曾爾村役場前					4/25	済									○	○																	△	
東部-D	大字陀	榛原駅～大字陀					4/11	済									○																			
東部-E	古市場	榛原駅～菟田野					4/11	済									○																			
東部-E	榛原東吉野	榛原駅～東吉野村役場前					4/11	済									○																			
東部-F	都祁榛原	榛原駅～針インター						費用分担の合意	○								○																			
東部-D	桜井菟田野	桜井駅南口～大字陀					4/25	済									○																			
中部-A	桜井飛鳥	桜井駅南口～石舞台						費用分担の合意																												
中部-E	高田イオンモール	イオンモール橿原アルル～竹取公園東						費用分担の合意		○	○												○													
中部-E	高田新家	忍海～竹取公園東						費用分担の合意		○													○													
中部-D	当麻新庄	近鉄高田駅～忍海駅						費用分担の合意		○																										
中部-C	八木御所	八木駅～橿原神宮駅～御所駅						橿原市→「維持」 高取町→「廃止」やむなし 御所市→?																												
中部-E	高田五條	近鉄高田駅～五條バスセンター						費用分担の合意		○																										
中部-E	八木五條	八木駅～五條バスセンター						費用分担の合意		○	○																									
中部-E	八木新宮	八木駅～新宮駅(ホテル昴)						和歌山県内関係市を含めた費用分担の合意		○	○																									
南部-A	十津川	五條バスセンター～十津川温泉						費用分担の合意																											△	
南部-A	広域通院ライン	五條バスセンター～十津川温泉(県立五條病院玄関口)						費用分担の合意																											△	
南部-B	大淀五條	大淀BC～五條BC					4/25	済																												
南部-C	下市天川	下市口駅～中庵住						下市口駅での乗降の工夫をした上での費用分担の合意																												
南部-C	洞川	大淀バスセンター～洞川温泉						費用分担の合意																												
南部-C	下市笠木	下市口駅～笠木						下市口駅での乗降の工夫をした上での費用分担の合意																												
中部-B	八木下市	八木駅～岩森(南大和3)						高取町→「廃止」やむなし 明日香村→? その他→「維持」																												
中部-B	八木大滝	八木駅～大淀BC 大淀BC～湯盛温泉杉の湯						高取町・吉野町→「廃止」やむなし 明日香村→? その他→「維持」																												
南部-D	熊野	湯盛温泉杉の湯～下桑原						代替モデルへ移行する決意が必要 維持モデル選択ならば、上市駅止まりも視野に入れる必要あり																												

第2回路線別協議(3月24日～28日) における主な意見

～協議内容～

- 県からバスカルテバージョンアップ版の内容説明
- 市町村による首長及び地元意見を踏まえた方針の説明
- 意見交換

緑字:協議会または交通会議あり 橙字:なし

※葛城市はH26年度から市町村協議会を立ち上げ、広陵町は市町村協議会を復活予定

□ 中部 (大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、葛城市、高取町、明日香村、広陵町)

- ✓ 観光という観点で、中和で連携していく必要がある。
- ✓ 桜井飛鳥線について、奈良交通提案のオフシーズン減便案で維持していきたい。
- ✓ 負担割合については県下一律の負担割合を採用することはできないのか。
 - 県下一律の負担割合については、県としては2月3日の協議会で『費用負担割合基準(案)』で示したところ。ただし、路線毎に個別の事情もあるため、路線単位でまとまればよいと考えている。(県)
- ✓ 八木下市線及び八木大滝線について、新たな負担による運行は考えていない。
- ✓ 奈良交通は、どのような営業努力をするのか。
 - 利用促進策については、今まで継続してやってきたところではあるが、今後も市町村の協力の下、実施していきたい。具体的には、企業等へ定期券購入の営業を行っており、今後増やしていきたい。市町村の協力があれば、企業の理解も得られやすいと考える。
- ✓ 八木御所線の沿線は、高齢者も多く、通院や買い物といった移動ニーズが高い傾向がでている。そうしたニーズに対応するために、維持を図ってきたい。
- ✓ 当麻新庄線はコミバスと区間が重複している。路線バスの補助をするとすると、議会などでの説明が難しい。

緑字:協議会または交通会議あり 橙字:なし

※大淀町はH26年度から公共交通会議を立ち上げ予定

下北山村は協議会復活予定

□ **東部** (奈良市、天理市、桜井市、宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村)

- ✓ 天理桜井線については、JRの桜井線が並行しているので、東部山間への路線とは位置づけが違うという判断。
- ✓ 運行経費に関する透明性の確保も必要ではないか。
- ✓ 榛原駅からの観光地への臨時バスには沢山の人がいるのを見るが、そういう方々を路線バスに取り込めないのか。
→ 観光地への観光客を路線バスに取り込むことについては、もう少し努力が必要かもしれない。

□ **南部** (五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村)

- ✓ 八木新宮線については、南部だけではなく中部の関係市町も一緒に議論した方がよいのではないか。
→ 八木新宮線については、和歌山県も含めた全体で協議する必要がある。(県)
- ✓ 南和病院へのアクセス確保について、早めに検討を進める必要があると認識しており、勉強会を開催したいと思っている。
- ✓ 八木大滝線については、3月議会で議論があり、路線バスとして補助するのか、代替モデルを考えるのか指標を出す必要がある、今後公共交通会議のなかで議論することとなっている。
- ✓ 熊野線などの路線がなくなると、村が捨てられた感じになるという住民感情もある。
- ✓ 段階を踏んでほしい。1便で4、5年走らせてから、コミバスに移行するなど。
- ✓ 熊野線について、利用向上を検討していく必要があると思っているが、県の補助が前提であると考えている。

第3回路線別協議(4月18日～28日) における主な意見

～協議内容～

- 前回検討会議で積み残した課題について意見交換
- 第5回奈良県地域交通改善協議会(6月9日)に向けての調整
- 改善策を持続可能なものにするためのネタ出し
- 意見交換

□ 中部 (大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、葛城市、高取町、明日香村、広陵町)

- ✓ 桜井飛鳥線について、時代を跨いだ周遊について提案していきたいと考えており、古墳時代の桜井市、飛鳥時代の明日香村、橿原市といった感じで取り組んでいくこともできるのではないかと。そうした中に、バスなどの公共交通を活かしていきたい。
- ✓ 八木御所線について、県の補助が入って、負担額が現状よりも少なくなるのであれば存続も考えるが、今のままでは距離割・実質赤字割りのどちらであっても廃止はやむを得ない。
- ✓ 当麻新庄線については、利用者が少ない上に、高田市コミバスと路線が重複しているので、負担についてはシビアに考えざるを得ない。
- ✓ 高田イオンモール線について、基本的には、前回、奈良交通が示していた改善策で良いと思っており、実質赤字割りでも良いと思うが、算出の方法がどうかと思う。
- ✓ 八木五條線について、医大へのアクセスを考えた結果、維持せざるを得ない。財政負担もやむを得ない。
- ✓ 八木五條線について、バスが必要以上に大きい。
 - 本系統は配車の関係で智井学園や五條高校の通学バスを兼ねている。別の小さい車にすると配車の関係で経費が逆に増加する可能性もある。
- ✓ これは一般論であるが、基本民間バスがありそれが黒字であれば何の問題もない。民間バスで成り立たない場合にコミバスで補完する、というのがスタンスである。(近畿運輸局奈良支局)

東部（奈良市、天理市、桜井市、宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村）

- ✓ 天理都祁線について、当村のような過疎でこのような事態になれば、その都度、過疎の村が負担をしていかないといけない状況になる。県としては、どのように考えているのかお聞きしたい。
 - 県としても、市町村に問題提起をして頂きたいと考えている。個別の状況には対応しにくいですが、そのような状況や声が広範囲であるということであれば、県としても対応を考えていかないといけないということになる。（県）
- ✓ 天理桜井線について、事務局サイドでは路線維持シナリオで市長の了解を得たいと考えている。
- ✓ 天理桜井線について、去年10～12月にかけて、試験的に桜井駅から大神神社までの小型バス(土日祝のみ10往復)を走らせたら、8%乗客が増えた。(奈良交通)
- ✓ 宇陀市でも、高校生や大学生を対象にバス購入に際して補助金(定期代の1/2だけでも)を出してあげれば、バスの利用の促進に繋がらないだろうか。
- ✓ 奈良交通路線バスとコミバスとの乗り継ぎ接続について、奈良交通としても情報提供について工夫をしていただきたい。
 - 今後は他の路線でも同じような必要が出てくると認識している。情報提供のやり方について検討していきたい。

□ 南部（五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）

- ✓ 八木大滝線について、広域で連携していきたいというのは議会・総務会議でも出ている。しかしながら、代替案で行った場合を町でも試算しており、コミバスですと結構安くできる。広域で連携といっても、コミバスでの連携を考えている。
- ✓ 大淀五條線について、将来的には南和病院の開院に向けて、当該路線の代替策について検討することになると思う。2年をかけて検討することになる。